



校報 ひたみちっ子

校 訓

「強く 賢く 美しく」
浜坂南小学校第57号
令和5年12月7日

「誰か」のこと じゃない… ～「人権週間」～

昭和23年(1948年)12月10日、国際連合第3回総会において、すべての人民とすべての国が達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。

「世界人権宣言」は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、人権保障の目標や基準を初めて国際的にうたった画期的なものでした。

採択日である12月10日は、「人権デー」と定められています。

法務省の人権擁護機関では、「人権デー」を最終日とする1週間(12/4～12/10)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っているそうです。

しかし、いじめや虐待・性被害などの子どもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人・性的マイノリティなどに対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、ハンセン病問題など、様々な人権問題が依然として存在しています。

また、ロシアによるウクライナへの侵攻、イスラエルとハマスの対立による紛争などにより、今も多くの方の命が危険にさらされています。

これらの問題解決には、私たち一人一人が、様々な人権問題を自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととしてとらえ、人権を尊重し合うことの大切さについて認識を深めることが不可欠です。…そんな1週間にできたらと思っています。

＜「あったか言葉(ふわふわ言葉)」と「チクチク言葉」＞

☆「あったか言葉」…言われるとあたたかい気持ちになる言葉

☆「チクチク言葉」…言われると嫌な気持ちや悲しい気持ちになる言葉

＜「チクチク言葉」の例＞

- ・バカ、アホ、のろま、ダサい、ウザい、キモい
- ・くさい、ムカつく、ぶっころす、めざわりだ、あっちに行け、消えろ
- ・うるさい、だまれ、だまってる、何をやってるんだ、下手くそ
- ・頭が悪いんじゃないか、早くしろ
- ・調子に乗るな、お前なんかいない、勝手にしろ、ふざけるな
- ・意味が分からない、はあ？何言ってるの？ ……など

言った方は何気なく口を突いて出てきた言葉かもしれませんが、そうした言葉が知らないうちに相手の心を傷つけていることがあります。

く「あったか言葉」の例>

- ・ありがとう、助かったよ、あなたのおかげよ
- ・かわいいね、カッコイイね、ステキね、きれいね
- ・すごいね、最高だね、やったね
- ・がんばろうね、がんばって、応援しているよ、信じてるよ
- ・ドンマイ、大丈夫だよ、元気出して
- ・いいね、いいじゃない、よかったね
- ・ごめんね、悪かった
- ・うれしいね、楽しいね ……など

相手をほめたり、元気づけたりする言葉は、言われた相手が笑顔になって、言った方も幸せになれる言葉です。「言葉づかい」に心を配ることは、相手を思いやることにつながります。

(参考…法務省公式Twitter、マイベストプロ JAPAN JIJICO など)

人権尊重について分かりやすい言葉で表現すると、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ということです。

このことを理解するというだけでなく、それが態度や行動につながるようにすることが大切です。

お互いを大切に思う心を育てること、お互いの良さを認め合う仲間を育てていくことを、一つ一つ積み上げていきたいですね。

これからも、学校、家庭、地域がしっかりつながって、子どもたちを中心に据えて、みんなが笑顔になれる、幸せになれるような学校づくりを進めていきたいと考えています。



学校でも指導しますが、保護者の皆様もご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

11/18(土)「PTA親子ふれあいイベント」終了後の集合写真

